

ios
Wireless

MA-WH101シリーズ



- 最初にご確認ください
- セット内容
- マウス本体 …… 1台
 - 直付けレシーバー …… 1台
 - 単4電池(テスト用) 2本
 - 取扱説明書 …… 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Webサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

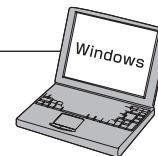
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。 サンワサプライ株式会社

目次

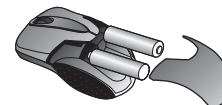
- 1 ●ワイヤレスマウスの接続手順
- 2 ●特長
- 3 ●警告
 - ・テレビ/ラジオの受信障害について 注意
- 4 ●健康に関する注意
- 5 ●対応機種・対応OS
 - ・対応機種
 - ・対応OS
- 6 ●接続する前に必ずお読みください
 - ・本製品をUSBポート接続する際の注意 (Windowsの場合)
- 7 ●マウスの準備 (電池の入れ方・電源のON・OFF)
- 8 ●マウスをパソコンに接続
 - ・レシーバーを接続
 - ・USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)
- 9 ●IDの設定方法 (パソコンにマウスを識別させます)
- 10 ●本製品の使用方法
 - ・左ボタン・右ボタン
 - ・ホイール(スクロール)
 - ・ホイールボタン(スクロールボタン)
 - ・ズーム
 - ・レシーバーをマウスに固定
- 11 ●ご使用上の注意
 - ・Windows Meで本製品をお使いになられる場合
 - ・Windows Me/98SE/98でご利用の場合
- 12 ●「故障かな…と思ったら」

ワイヤレスマウスの接続手順

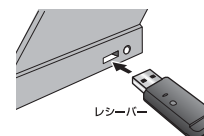
対応OSを確認します
→P3



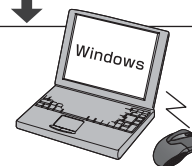
マウスに電池を入れ
電源スイッチを
ONにします
→P5



・コンピュータの電源を入れ
Windowsを起動します
・USBポートにレシーバーを
接続します
→P6



接続が完了したらマウスと
レシーバーのID設定を
行います。
これでマウスは使えるよう
になります。
→P9



詳細は各ページをご覧ください。

特長

この度は、2.4Gワイヤレスイオスmtをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は2.4GHzRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、直付けレシーバーなのでデスク周りもスッキリ。またレシーバーをマウス本体裏面にマグネット固定できるので、携帯・モバイルにも便利です。本製品は、高精度な光学センサー方式にMR-Sレンズを組み込んだ高性能読み取りエンジンを搭載したマウスです。光学センサーでは識別しにくかった光沢感のある素材の表面を読み取ることが可能で、様々なシーンで威力を発揮します。

本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。

※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。



警告

■テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境においては防止すべき受信障害の規制基準を定めたものです。装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせでお試ください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注 意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。

マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・対応OS

■対応機種

- Windows搭載パソコン
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
 - Apple iMac、iBook、Power Mac G5・G4・G3シリーズ
- ※USBポート（Aタイプコネクタ）を持つ機種。

■対応OS

- USB接続:Windows Vista XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X（10.2以降）
- ※Mac OS X（10.3以降）は、標準インストールされているSafari、Mail、Text Edit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
- Mac OS 8.6～9.2.2でご使用の際は、弊社ウェブサイト（<http://www.san-wa.co.jp/>）よりドライバをダウンロードしてください。

※機種により対応できないものもあります。

※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

■ 接続する前に必ずお読みください

■ 本製品をUSBポート接続する際の注意 (Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

■ BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合 (Windowsの場合)

- BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

■ マウスの準備 (電池の入れ方、電源のON・OFF)

1. マウス裏面の電池カバーボタンをAの方向 (OPEN) に押すと、カチッと音が出て電池カバーが少し開きます。(図B) 下図のように電池カバーを持って斜上に引くと、電池カバーが外れます。(図C、D)
2. マウスに付属の乾電池を入れて、電池カバーを取外した手順とは逆の手順で取り付けてください。(図E) 最後に電池カバー後部を上から押し、カチッと音がすれば、ロックされます。電池を入れる際、電池の方向に注意してください。
3. マウス裏面の電源スイッチをONにして光学センサーが光っている事を確認します。もし光学センサーが光っていない場合は、電池の方向を確認してください。
4. 電池の残量が少なくなると、レーザーのLEDが赤色に点灯します。
※ マウスの電池は、通常の使い方において約3週間～1ヶ月が目安になっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。) 電池交換の際は、単四アルカリ乾電池をご使用ください。
※ 空になった電池をマウス本体内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、出しておいてください。

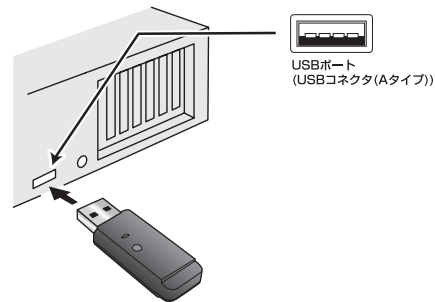


マウスをパソコンに接続

■レシーバーを接続 (Windowsの場合)

※注意: マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検
索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

- ① コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ② レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



〈レシーバー〉



(裏面へ続く)

保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いた
しますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちくだ
さい。
- 2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ① 保証書をご提示いただけない場合。
 - ② 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ③ 故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
 - ④ お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤ 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間
内での修理もお受けいたしかねます。
- 4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については
当社はその責を負わないものとします。
- 5) 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担
となります。
- 6) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7) 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はインターネットで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

■ サポート情報	■ よくある質問 (Q&A)
■ ドライバのダウンロード	■ 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

トップページから
▼ "サポート" コーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2007.9

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8890
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 三栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒463-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジヤビル ☎052-453-0031 FAX.052-453-0033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区京屋4-1-45 新大阪八千代ビル ☎06-6385-5310 FAX.06-6385-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢 ☎076-222-6584

07/09/FNDaKy

マウスをパソコンに接続 (つづき)

③ 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

＜Windows Vistaの場合＞

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

＜Windows XP・2000・Meの場合＞

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

＜Windows 98・98SEの場合＞

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザード



●新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス—— 次へ>



●検索方法を選択してください。
④使用中のデバイスに最適なドライバ
を検索する(推奨) —— 次へ>



●新しいドライバはハードドライブのデー
タベースと、次の選択した場所から検索
されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)
を入れますに —— 次へ>
もし、検索場所を聞いてきたら、
☑ 検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF ※

もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS

※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROM
ドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライ
(C)にチェックを付けてください。

マウスをパソコンに接続 (つづき)



●次のデバイス用のドライバファイルを検
索します。
USBヒューマンインターフェイス
デバイス —— 次へ>



●USBヒューマンインターフェイス
デバイス—— 完了

※接続が完了したら、ID設定方法(9ページ)へ。

■USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

- ① コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
- ② レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
- ③ 接続が完了したら、ID設定を行います。(9ページへ)

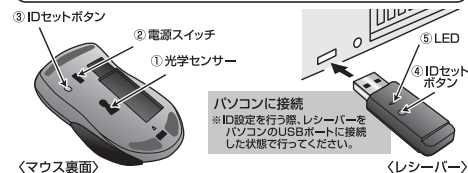
※Mac OS X(10.3以降)は、標準でインストールされているSafari、Mail、
Text EditおよびFinderなど、OS標準ドライバで、スクロール可能なアプリ
ケーションのみスクロール可能です。また、ホイールボタン押し下げによ
る動作はサポートしません。

■ IDの設定方法（パソコンにマウスを識別させます）

※重要（必ずお読みください）

レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、マウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。

もし、動作がスムーズでなかったり、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池交換もご検討ください。



- ID番号を設定する前に①（マウスの裏面の光学センサー）が点灯していることを確認します。
- もし点灯していない場合は、②（電源スイッチ）がONになっているか、電池が正しく入っているかを確認してください。
1. コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
 2. ペン先等を使って④（レシーバーのIDセットボタン）を押します。
 3. ⑤（レシーバーのLED）がゆっくりと緑色に点滅します。
 4. ⑤（レシーバーのLED）が点滅している間に③（マウスのIDセットボタン）を押します。
 5. ⑤（レシーバーのLED）が緑色の早い点滅に変わり、数秒後消灯したら、ID設定は完了です。
 6. マウスを動かした際、⑤（レシーバーのLED）が点滅します。マウスカーソルが動かない場合は、マウスの電源スイッチをOFFにし、再度電源スイッチをONにして2～5番までの手順を行ってください。

※IDの設定を行う場合はあらかじめマウスとレシーバーの距離を10cmくらいに近づけて行ってください。

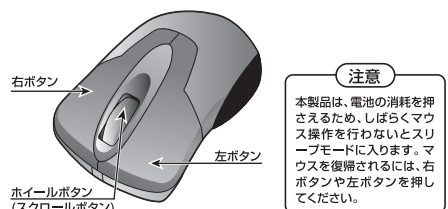
※⑤（レシーバーのLED）が赤色に点灯する場合は、電池が少なくなっていますので、新しい電池に交換してください。

※ID番号は65536通り（チャンネルは16通り）あり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。ただし、同時に2台以上のマウスのID設定を行わないでください。

※パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源スイッチをON・OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。ただし、長時間放置した後など、マウスを動かしてもレシーバーのLEDが点灯しなくなった場合は上記の設定をやり直してください。

■ 本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール（ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。）機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション（スクロール、オートスクロール、ズームなど）が行えます。



■ 左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

■ ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

■ ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。

このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ ズーム

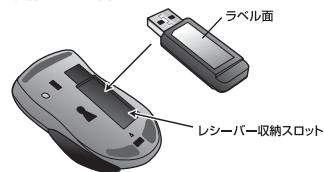
ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

■ 本製品の使用方法 (つづき)

■ レシーバーをマウスに固定

マウス本体の裏面を上にして、レシーバーのラベル面が見える状態でパソコンのレシーバー収納スロットに固定します。



〈マウス本体裏面〉

■ ご使用上の注意

本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

■ Windows Me で本製品をお使いになれる場合

「コントロールパネル」→「マウスのプロパティ」→「ポインタオプション」→「詳細設定」の「☐ポインタの加速度 (A) のチェックマーク (✓) を外してください。(Windows 2000 の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

■ Windows Me/98SE/98 でご使用の場合

ポインタの速度 (S) を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



■ 「故障かな…と思ったら」

Q. マウス (マウスカーソル) が動かない。

- A.
1. マウス裏面の光学センサーが光っていない場合、スリープモードに入っている場合がありますので、右ボタンや左ボタンを押してください。(4ページ参照)
 2. 電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(5ページ参照)
 3. レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は9ページ参照)
 4. 電池残量LEDが点灯している場合、電池寿命の合図です。また、電池残量LEDが点灯していても、光学センサーが光らなくなった場合、電池寿命がもたないため、電池を交換してみてください。付属の電池 (単四乾電池×2本) はテスト用です。(5ページ参照)
 5. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル (KU-ENI等) を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスが全く動かない。

- A.
- 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンをクリックしてください。(10ページ参照)

Q. マウスカーソルの動きがスムーズでない。

- A.
1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
 2. 他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、**ID番号の設定をやり直してみてください。**(9ページ参照)
 3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、2m以内 (磁性帯上) ~ 10m以内 (非磁性帯上)
 4. ワイヤレスLAN等の2.4GHz帯を近くでご使用の際、本製品は電波状況に応じて、ホッピングチャンネル方式でチャンネルを切替えていきます。その際ほんの少しの時間動作がスムーズでない場合があります。
 5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
 6. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル (KU-ENI等) を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A.
1. ハイカラーモードを選択してください。
 2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。